

近き者説び 遠き者来る

よろこ

離島エコツーリズムへのご招待

今春から、上島町観光協会による離島エコツーリズムの取り組みが本格的にスタートしました。これは、自然環境や歴史文化など上島町固有の魅力を観光客に伝え、その価値や大切さについて理解を深めてもらうことで、自然環境や歴史文化の保全につなげようとするものです。

昨年行われた「瀬戸内しまのわ2014」の事業コンセプトに「近き者説び、遠き者来る」という孔子の言葉がありました。上島町の自然や文化を私たち自身がめいっぱい楽しんでいてこそ、上島町外の方も、訪れてみたくなるはずです。

エコツーリズムのメニューは、シーカヤックにハイキング、ポタリング。上島町に住んでいる私たちにも新しい発見が待っています。一緒にエコツーリズム始めてみませんか。



「せっかくの休日だから島の外へ遊びに」なんて思っていないませんか。「島内だと遊ぶところもないし…」というあなたにおすすめなのが今回ご紹介する離島エコツーリズムです。

このエコツーリズムについて上島町観光協会の宮畑周平さんは「今までになかった体験を提供したい、この恵まれた環境を遊ぶ道具を増やしたい——。こうした思いから生まれた、島での時間の使い方についての新しい提案です」と話します。

元々は観光客向けに企画されたものですが、私たち町民にとっても島で過ごす時間の質を高められるものになっています。

どのアクティビティも頼れる公認ガイドがついていますので、初心者でも安心して楽しめますが、なかでもおすすめなのが「シーカヤック」。周囲が海に囲まれた島ならではの体験で、波が静かで雨が少なくという上島町の気候は初心者にもぴったり。

また、上級者を魅了してやまなのが瀬戸内海特有の複雑な潮流です。刻一刻めまぐるしく変わる潮目を読みながらのツーリング、

それは推理小説を読むような、スリリングなおもしろさです。

この「シーカヤック」体験については、町内在住者および町内に勤務している方（小学4年生以上）を対象に通常6千円の体験費が1千円となる体験補助制度を実施中です。随時体験可能で、定員は100名までとなっています。詳しくは上島町観光協会までお問い合わせください。

エコツーリズムの今後については「外部への発信が課題」と宮畑さん。エコツーリズムを催行するのに最低限のインフラが整った今、観光客をどう呼び込むか、観光協会の思案は続いています。

もしかしたら、私たち自身が楽しそうに遊ぶ姿こそが、最高の宣伝になるのかもしれない。

☎ 上島町観光協会

7219277

Eメール visit@kamijima.info



取材させていただいた方
上島町観光協会
事務局

宮畑 周平さん



ハイキング

普段見慣れている上島町の山も、実は多様な自然にあふれています。珍しい昆虫や、希少な猛禽類^{もうきんるい}に出会えるかもしれません。かつてのように山の利用がなくなって山も変化していますが、そういった自然の変遷も含めて、面白い教材になるのではないのでしょうか。また山頂からの多島美を眺めるのは旅行者にとっては素晴らしい体験です。もう一度、上島町の森や山を見直しませんか。

ポタリング

「ポタリング」とは自転車散歩という意味の言葉です。レースのように長距離をさっそうと走り抜ける一般的なイメージのサイクリングと違って、ガイドさんと一緒に細い路地に入って島の生活感に触れたり、古い看板や古民家を発見したり、神社の由来や島の歴史を学んだり。ゆっくりと島時間を味わうような、小さな島にぴったりの自転車の楽しみ方を提案しています。



シーカヤック

パドル（カヌーをこぐ^{かい}櫂）を使って海上を進む、長さ4～5メートルほどの小さなカヌーです。水の抵抗が少ない細長いかたちをしています。乗ってみると視点が海面にとっても近く感じられ、ひとたび漕ぎ出すとスイスイとけっこうスピード感があります。また、エンジンがついていないので漕いでいる間でも大変静か。海の上に浮かんでいると、まるで別世界に来たような時間を楽しむことができます。

あるがままの島を

公認ツアーガイド

石田 頼房さん



都会から来たお客さんにとって、島の面白さは「島のあるがままの姿」を見ることです。そこに都会にはないもの——自然の美しさや、人々の暮らし方——を発見して、魅力的だと感じるのです。だから特別なものを用意する必要はありません。僕たちが引率するツアーを見かけたら、ぜひ「どこから来たん」と声をかけてみてください。それだけで思い出に残る体験になるでしょう。また、シーカヤックなどでもご家族で、お友達同士で体験して、ぜひその面白さに触れてみてください！